

症例単位の記入例

臨床実績表・修復症例一覧表 および 臨床実績表・歯内症例一覧表の各シートに、申請症例の必要事項を記入してください。症例は、過去5年以内に行った症例に限ります。それぞれのシートに記載した症例は、修復または歯内の、臨床実績まとめシートに反映されます。

- ・各症例の単位は難度分類表を参照して記入してください。難易度分類に含まれない一般症例は1単位になります。単位は難症例か一般症例のいずれか一方になります。
- ・紹介患者の場合、一般症例、難症例の単位数に1単位を加算してください。
- ・治療術式・使用材料は一般名を記載してください(例:CR充填、コンポジットレジン、側方加圧根管充填)。

修復

(例1・修復) 紹介患者。エナメル質初期齲蝕に対しフッ化物塗布を6か月間行い(A1-1)、再石灰化治療を行った。

→ 難度分類A1-1:5単位、紹介症例:1単位を加算。 $5 + 1 = 6$ 単位

(例2・修復) 他院または他診療科からの紹介なし。歯の広範囲にわたる齲蝕窩洞(A3)に、歯髄温存療法を行い(A2-2)、コンポジットレジン修復を行った。

→ 難度分類A3:3単位に、A2-2:2単位を合算することができる。紹介患者ではないので、紹介加算はない。 $3 + 2 = 5$ 単位

(例3・修復) 紹介患者。通常のMO窩洞にコンポジットレジン修復を行った。

→ 通常の窩洞であり、難症例には含まれない。一般症例:1単位に、紹介症例:1単位を加算。
 $1 + 1 = 2$ 単位

歯内

(例1・歯内) 紹介患者。10度以上の湾曲のある歯根形態に対する治療(B3:3単位)で、隔壁(B1:2単位)を作成して行った。

→ 難度分類 B3:3単位に、B1:2単位を合算することができる。紹介患者なので、紹介症例:1単位を加算。 $3 + 2 + 1 = 6$ 単位

(例2・歯内) 他院または他診療科からの紹介なし。隔壁を作らずにラバーダムを行い、通常の根管治療を行った。

→ 通常の根管治療であり、難症例には含まれない。一般症例:1単位。紹介患者ではないので、紹介加算はない。1単位。

(歯内症例はラバーダム防湿の実施が前提であり、ラバーダムそのものの加算はありません。)